

ちょっと人権

笑うことはすばらしい！ 笑えばすべてが前進する！

高齢者と人権 ～介護をとおして見えるもの～号

人権教育セミナー短信 NO. 7 平成 17 年8月 23 日

学校支援部 人権教育担当

第8講座 高齢者と人権

共催：社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

1 講演 笑うことは素晴らしい 【特別養護老人ホーム「メリーホーム大喜」 統括マネージャー 袖山卓也さん】

講師の袖山卓也さんは、名古屋でユニークな介護士として活躍中。「笑うことは、すばらしい。笑えばすべてが前進する」をモットーに、日々高齢者の元気を引き出すことから「笑う介護士」の異名を持っています。特別養護老人ホーム「メリーホーム大喜」の統括マネージャーとして、介護の仕事に加えて施設マネジメントにも携わっています。

袖山さんは、笑うことの大切さについて次のように話されました。

「人が声を出して笑っているのは、楽しさ、嬉しさ、幸せなどの感情が溢れているのだと信じて、高齢者の方の笑顔を引き出せるように接しています。おこがましくも、私たちのような若輩スタッフが高齢者の方の力になれることを探したとき、幸せな感情に裏打ちされた笑顔が、あふれる場所を提供することしかないと判断しました。」

前半の講演を終えると、参加者から袖山さんに対するたくさんの質問が出されました。個々の質問に、丁寧に答えていただきました。

参加者の振り返りシートから、「歯切れの良い講演であり心に響いた」「強いプロ意識を感じた。仕事に対する姿勢、時間を無駄にしない姿勢を見習いたい」「袖山さんの話は、自分が避けていた課題を突きつけられ大変ショックだった。しかし、よい方向に変えるためのきっかけになりたい」など、今回の研修会に参加して、「袖山さんの存在を知ることができてよかった」という多くの声が寄せられていました。



2 ワークショップ 高齢者の人権授業づくり 【高知県ボランティア・NPOセンター 主任 半田雅典さん】



＜グループに分かれて自己紹介＞



＜講師の半田雅典さんとサポートの
平成福祉専門学校の長野裕一郎さん＞



＜高等学校グループの発表＞

午後は半田さんによる「高齢者と人権」を題材にした授業づくりのワークショップを行いました。そのなかで、高齢者と人権の学習のねらいや意義を共有しました。また、総合的な学習の時間に生かせるプログラムを実際にグループで話し合いながら作成していきました。

学習の流れはつぎのとおりです。

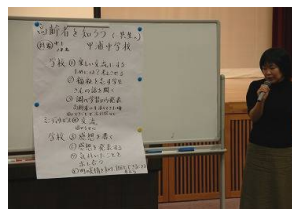
- ①オリエンテーション
- ②自己紹介(名前、午前中の講演で感じたこと)
- ③「高齢者と人権」の授業のなかで、子どもたちに何を伝えたいか
ブレインストーミング: 思いついたキーワードをどんどんあげていきます
班別話し合い: みんなの意見をもとに、班で話し合いをします
- ④「高齢者と人権」に関するプログラムづくりの留意点
- ⑤班で話し合って「プログラム」をつくってみよう
- ⑥発表(班からの発表、全員で共有する)
- ⑦まとめ、振り返り



＜成果物の作成の途中＞



＜小学校グループの発表＞



＜中学校グループの発表＞